

* 寸法はすべてcm

1.プロローグ：玉川電気鉄道から田園都市線・世田谷線まで

〔資料〕	作者名	資料名	制作年	発行	所蔵
1		『沿線案内 渋谷玉川電車』	1935 (昭和10) -1938 (昭和13) 年頃	玉川電気鉄道株式会社	世田谷区立郷土資料館蔵
2		『夏の玉川 渋谷玉川電車』	1930 (昭和5) -1932 (昭和7) 年頃	玉川電気鉄道株式会社	世田谷区立郷土資料館蔵
3		『新町経営地内全図』	1926 (大正15) 年	社団法人新町親和会	世田谷区立郷土資料館蔵
4		資料パネル：建坪別分譲住宅の案内（「田園と住まい展」（1989）展示パネル）			
5	長谷川町子 著	『サザエさん』第1巻	1957 (昭和32) 年12月10日	姉妹社	
6	長谷川町子 著	『サザエさん』第3巻	1950 (昭和25) 年2月15日	姉妹社	
7	長谷川町子 著	『サザエさん』第4巻	1950 (昭和25) 年2月15日	姉妹社	
8	長谷川町子 著	『サザエさん』第5巻	発行年不詳	姉妹社	
9	長谷川町子 著	『サザエさん』第6巻	1951 (昭和26) 年2月5日	姉妹社	
10	長谷川町子 著	『サザエさん』第7巻	1951 (昭和26) 年8月25日	姉妹社	
11	長谷川町子 著	『サザエさん』第8巻	1952 (昭和27) 年1月15日	姉妹社	
12	長谷川町子 著	『サザエさん』第9巻	1954 (昭和29) 年1月15日	姉妹社	
13	長谷川町子 著	『サザエさん』第10巻	1952 (昭和27) 年12月15日	姉妹社	

2.桑原甲子雄がとらえた世田谷

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
14 桑原甲子雄	松陰神社前駅〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	41.0	50.7		
15 桑原甲子雄	プロマイド〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	50.7	41.0		
16 桑原甲子雄	古時計〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	50.7	40.2		
17 桑原甲子雄	たばこ〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	50.7	40.8		
18 桑原甲子雄	そば屋〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	50.7	40.3		
19 桑原甲子雄	瀬戸物〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	50.7	41.0		
20 桑原甲子雄	掛軸屋〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	50.7	41.0		
21 桑原甲子雄	電畜〈世田谷ポロ市〉より	1936 (昭和11) 年	ゼラチンシルバープリント	40.9	50.7		
22 桑原甲子雄	世田谷区〈東京長日〉より	1976 (昭和51) 年	ゼラチンシルバープリント	60.0	89.9		
23 桑原甲子雄	世田谷区太子堂〈東京長日〉より	1976 (昭和51) 年	ゼラチンシルバープリント	59.9	89.8		
24 桑原甲子雄	地下鉄新玉川線〈東京長日〉より	1978 (昭和53) 年	ゼラチンシルバープリント	59.9	89.8		
25 桑原甲子雄	世田谷区三軒茶屋〈東京長日〉より	1987 (昭和62) 年	ゼラチンシルバープリント	34.8	50.8		
26 桑原甲子雄	世田谷区馬事公苑〈東京長日〉より	1988 (昭和63) 年	ゼラチンシルバープリント	34.9	50.9		
27 桑原甲子雄	ひるね 世田谷区 馬事公苑〈東京長日〉より	1990 (平成2) 年	ゼラチンシルバープリント	34.7	50.5		
28 桑原甲子雄	世田谷区〈午後の微笑〉より	1992 (平成4) 年	ゼラチンシルバープリント	60.8	50.7		
29 桑原甲子雄	世田谷区上用賀〈午後の微笑〉より	1992 (平成4) 年	ゼラチンシルバープリント	50.7	60.8		

3.3宿駅あたり

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
30 平福百穂	菩提女王	制作年不詳	絹本着色	36.0	23.0		
31 平福百穂	清溪游鹿	1921 (大正10) 年	紙本着色	132.5	33.3		
32 平福百穂	新芽頃	制作年不詳	絹本着色	141.5	50.3		
33 松林桂月	蒼崖飛泉	1952 (昭和27) 年	絹本着色	68.0	86.5		
34 堅山南風	O氏像	1954 (昭和29) 年	紙本着色	118.5	82.1		
35 郷倉千鞠	拾卵図	1931 (昭和6) 年	紙本着色	170.7	190.0		
36 郷倉和子	初秋	1980 (昭和55) 年	紙本着色	54.0	105.0		

〔資料〕	作者名	資料名	制作年	発行	所蔵
37 斎藤茂吉 著		『赤光 (新版)』	1949 (昭和24) 年	千日書房	世田谷文学館蔵
38 斎藤茂吉 著		『歌集 あらたま』	1925 (大正14) 年	春陽堂	世田谷文学館蔵
39 斎藤茂吉 著		『随筆 念珠集』	1930 (昭和5) 年	鉄塔書院	世田谷文学館蔵
40 平福百穂 著		『歌集 寒竹』	1927 (昭和2) 年	古今書院	世田谷文学館蔵
41 平福百穂 著		『竹窓小話』	1935 (昭和10) 年	古今書院	世田谷文学館蔵

4.三軒茶屋駅あたり

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
42 橋本平八	弱法師	1928 (昭和3) 年2月1日	木	39.0	14.5	22.0	寄託作品
43 北園克衛	プラスチック・ポエム #185	制作年不詳/2002 (平成14) 年 (プリント)	ゼラチンシルバープリント	25.3	20.2		世田谷文学館蔵
44 北園克衛	プラスチック・ポエム #57	1965 (昭和40) 年頃/2002 (平成14) 年 (プリント)	ゼラチンシルバープリント	25.3	20.2		世田谷文学館蔵
45 麻生三郎	馬事公苑	1958 (昭和33) 年	紙、インク	23.1	30.5		
46 麻生三郎	馬事公苑	1958 (昭和33) 年頃	紙、インク	21.8	30.5		
47 麻生三郎	三軒茶屋	1963 (昭和38) 年1月27日	紙、鉛筆、色鉛筆	18.5	26.8		
48 麻生三郎	川の向こうの道	1960年代	紙、鉛筆	17.3	12.3		
49 麻生三郎	もの花咲く	1951 (昭和26) 年	紙、墨	31.5	22.1		
50 麻生三郎	人	1971 (昭和46) 年	カンヴァス、油彩	90.9	73.0		
51 麻生三郎	胴体と太陽	1966 (昭和41) 年	カンヴァス、油彩	130.6	193.6		
52 鶴岡政男	コロコロ・ポコ	1963 (昭和38) 年	カンヴァス、油彩	72.8	90.8		
53 鶴岡政男	踊るポコ	1963 (昭和38) 年	カンヴァス、油彩	91.0	72.9		
54 森野圓象	力闘	1934 (昭和9) 年	木 (楠)	85.0	160.0	65.0	
55 森野眞弓	Object Window-4	1987 (昭和62) 年	フェルト	167.5	231.6		

〔資料〕	作者名	資料名	制作年	発行	所蔵
56 橋本健吉 (北園克衛) 編		『ゲエ・ギムギガム・ブルルル・ギムゲム』第2年第1集 (復刻版)	1925 (大正14) 年1月1日/2007 (平成19) 年	エポック社/不二出版	
57 野川隆 編		『ゲエ・ギムギガム・ブルルル・ギムゲム』第2年第6号 (復刻版)	1925 (大正14) 年6月1日/2007 (平成19) 年	エポック社/不二出版	
58 橋本健吉 (北園克衛)、富士原清一 編		『薔薇・魔術・学説』11月号 (復刻版)	1927 (昭和2) 年11月1日/1977 (昭和52) 年	列社/西澤書店	
59 亞坂健吉 (北園克衛) 編		『薔薇・魔術・学説』第1年第2号 (復刻版)	1927 (昭和2) 年12月1日/1977 (昭和52) 年	薔薇・魔術・学説・盟社/西澤書店	
60 亞坂健吉 (北園克衛) 編		『薔薇・魔術・学説』第2年第1号 (復刻版)	1927 (昭和2) 年12月25日/1977 (昭和52) 年	薔薇・魔術・学説・盟社/西澤書店	
61 亞坂健吉 (北園克衛) 編		『薔薇・魔術・学説』第2年第2号 (復刻版)	1928 (昭和3) 年1月25日/1977 (昭和52) 年	薔薇・魔術・学説・盟社/西澤書店	
62		復刻版『薔薇・魔術・学説』付録	1977 (昭和52) 年	西澤書店	
63 富士原清一 編		『衣装の太陽』第1号 (復刻版)	1928 (昭和3) 年11月1日/1987 (昭和62) 年	L・E・S社/田村書店	

5.松原駅あたり

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
64 竹久夢二	三味線を弾く娘	制作年不詳	多色摺り木版	45.0	35.5		
65 藤島武二	お葉 (佐々木カ子ヨ) 像	制作年不詳	石膏、紙、胡粉	33.5	16.5	20.0	
66 今西中通	提琴	1939 (昭和14) 年	カンヴァス、油彩	91.0	65.2		
67 今西中通	不詳 (カット)	制作年不詳					

〔資料〕	作者名	資料名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
68		少年山荘 復元模型 1/50サイズ 製作：十川造形工房			30.0	60.0	60.0	世田谷文学館蔵

6.駒沢大学駅あたり

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
69 向井潤吉	不詳 (自邸スケッチ)	制作年不詳	紙、鉛筆、水彩	38.0	45.8		個人蔵
70 向井潤吉	老人の頭 (デューラーの模写)	1929 (昭和4) 年	カンヴァス、油彩	40.9	32.8		
71 向井潤吉	新雪 [東京都世田谷区弦巻 蛇崩川付近]	1940 (昭和15) 年頃	カンヴァス、油彩	38.0	45.5		
72 向井潤吉	司厨夫	1928 (昭和3) 年	カンヴァス、油彩	65.3	50.0		
73 向井潤吉	春叢 [埼玉県東松山市神戸]	1988 (昭和63) 年	カンヴァス、油彩	80.4	100.0		
74 向井潤吉	武蔵野の丘径 [埼玉県比企郡嵐山町]	1974 (昭和49) 年	カンヴァス、油彩	50.0	60.6		
75 向井良吉	蟻の城	1960 (昭和35) -1984 (昭和59) 年	白銅	55.0	26.0	28.0	
76 大内青圃	摩耶夫人	1959 (昭和34) 年	木 (楠)	60.0	49.5	27.2	

7.桜新町駅あたり

	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
77	岸田劉生	林六先生閑居図	1923 (大正12) 年4月9日	紙本着色	140.2	34.1		寄託作品
78	林二郎	スペイン風バーゲノー (収納引出し付き机)	1931 (昭和6) 年頃	木 (胡桃)、金具	137.0	98.5	137.0	
79	林二郎	ベザント・アームチェア	1930年代	木	64.5	54.7	42.5	
80	緑川廣太郎	オナガの子	1943 (昭和18) 年8月	紙、鉛筆	36.3	25.9		世田谷文学館蔵
81	緑川廣太郎	志賀直哉『和解』装幀案	1951 (昭和26) 年頃	紙、鉛筆、水彩	25.9	36.3		世田谷文学館蔵
82	緑川廣太郎	自画像	1948 (昭和23) 年	紙、鉛筆	29.5	24.0		
83	緑川廣太郎	樹立	制作年不詳	紙、インク	23.3	31.8		
84	緑川廣太郎	寒ばけ	制作年不詳	色紙、水彩	27.3	24.5		
85	緑川廣太郎	不詳 (柿)	制作年不詳	色紙、水彩	24.2	27.3		
86	緑川廣太郎	静物	制作年不詳	色紙、水彩	27.3	24.3		
87	緑川廣太郎	秋景 (世田谷風景)	1950 (昭和25) 年	カンヴァス、油彩	44.8	65.1		

[資料]	作者名	資料名	制作年	発行	所蔵
88	北山清太郎 編	『現代の洋画』第1号 (復刻版)	1912 (明治45) 年4月1日/1989 (平成元) 年	日本洋画協会 (北山清太郎) / 臨川書店	
89	北山清太郎 編	『現代の洋画』第7号 (復刻版)	1912 (大正元) 年10月10日/1989 (平成元) 年	日本洋画協会 (北山清太郎) / 臨川書店	
90	北山清太郎 編	『現代の洋画』第14号 (復刻版)	1913 (大正2) 年5月1日/1989 (平成元) 年	日本洋画協会 (北山清太郎) / 臨川書店	
91	北山清太郎 編	『現代の洋画』第17号 (復刻版)	1913 (大正2) 年8月1日/1989 (平成元) 年	日本洋画協会 (北山清太郎) / 臨川書店	
92	北山清太郎 編	『現代の洋画』第26号 (復刻版)	1914 (大正3) 年5月3日/1989 (平成元) 年	日本洋画協会 (北山清太郎) / 臨川書店	
93	北山清太郎 編	『現代の洋画』第28号 (復刻版)	1914 (大正3) 年7月3日/1989 (平成元) 年	日本洋画協会 (北山清太郎) / 臨川書店	
94		復刻版『現代の洋画』付 解説・総目次・索引	1989 (平成元) 年	臨川書店	
95	緑川廣太郎 著	『絵物語 たから島』	1949 (昭和24) 年	小山書店	世田谷文学館蔵
96	志賀直哉 著	『日曜日』	1948 (昭和23) 年	小学館	世田谷文学館蔵
97	志賀直哉 著	『和解』	1951 (昭和26) 年	鎌倉文庫	世田谷文学館蔵
98	志賀直哉 著	『暗夜行路』	1966 (昭和41) 年	東方社	世田谷文学館蔵
99	野尻抱影 著	『星の美と神秘』	1946 (昭和21) 年	恒星社厚生閣	世田谷文学館蔵
100	志賀直哉	志賀直哉 緑川廣太郎あてはがき	1953 (昭和28) 年9月6日		世田谷文学館蔵
101	野尻抱影	野尻抱影 緑川廣太郎あて年賀状	1975 (昭和50) 年1月1日		世田谷文学館蔵

8.五電瀬田駅あたり

	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
102	緑川廣太郎	海に生きる	1975 (昭和50) 年	カンヴァス、油彩	130.3	162.1		
103	緑川廣太郎	祈る人	1966 (昭和41) 年	カンヴァス、油彩	130.3	162.1		
104	緑川廣太郎	モスク	1969 (昭和44) 年	カンヴァス、油彩	97.3	145.8		
105	高橋秀	マンホール	1962 (昭和37) 年	カンヴァス、ミクストメディア	117.5	111.2		
106	古茂田守介	不詳	1956 (昭和31) 年	カンヴァス、油彩	24.4	33.5		
107	高橋秀	サザエのある静物	1959 (昭和34) 年頃	紙、エッチング	12.0	18.0		
108	駒井哲郎	黄色い家	1960 (昭和35) 年	紙、ディープ・エッチ、アクアチント (1版多色)	21.1	16.1		
109	駒井哲郎	食卓II	1959 (昭和34) 年	紙、ディープ・エッチ、アクアチント (1版多色)	27.3	19.2		
110	詩：安東次男 版画：駒井哲郎	Juin「球根たち」 (詩画集『からんどりえ』より)	1960 (昭和35) 年	紙、アクアチント	17.5	30.0		
111	高橋秀	冥想 一白一	1976 (昭和51) 年	カンヴァス、ラッカー、シリコン	170.0	200.0		
112	高橋秀	FISIOLOGO —azzurro—	1976 (昭和51) 年	カンヴァス、ラッカー、シリコン	205.0	300.0		

[資料]	作者名	資料名	制作年	発行	所蔵
113		『季刊 作品』創刊号	1960 (昭和35) 年10月20日	三田悠之	
114	藤田桜 著	『手芸とお人形のエホン』	1950 (昭和25) 年	東和社	
115		『ひまわり』第1巻第7号 (復刻版)	1947 (昭和22) 年/1988 (昭和63) 年	ヒマワリ社/国書刊行会	
116		『ひまわり』第2巻第2号 (復刻版)	1948 (昭和23) 年/1988 (昭和63) 年	ヒマワリ社/国書刊行会	
117		『ひまわり』第2巻第3号 (復刻版)	1948 (昭和23) 年/1988 (昭和63) 年	ヒマワリ社/国書刊行会	

9.二子玉川駅あたり

	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	所蔵
118	宮本隆司	世田谷・多摩川、東京	2004 (平成16) 年3月10日	発色現像方式印画	304.0	318.0		個人蔵
119	池辺一郎	多摩川べり	1930 (昭和5) 年	紙、インク、水彩	25.0	33.3		
120	池辺一郎	多摩川 小田急鉄橋	1930 (昭和5) 年	紙、インク、水彩	25.0	33.3		
121	池辺一郎	多摩川べり	1940 (昭和15) 年	紙、鉛筆、水彩	25.0	33.3		
122	池辺一郎	雪の多摩川	1940 (昭和15) 年	紙、鉛筆、インク	28.2	38.0		
123	池辺一郎	多摩川 梨畑	1940 (昭和15) 年	紙、インク、水彩	25.0	33.3		
124	池辺一郎	多摩川	1930 (昭和5) 年	紙、インク、水彩	25.0	33.3		
125	池辺一郎	多摩川の川原	1940 (昭和15) 年	紙、インク、水彩	32.0	40.6		
126	池辺一郎	多摩川の堤防	1940 (昭和15) 年	紙、鉛筆、水彩	32.0	40.6		
127	池辺一郎	多摩川	1940 (昭和15) 年	紙、鉛筆、水彩	38.3	27.0		
128	池辺一郎	多摩川原	1940 (昭和15) 年	紙、鉛筆、水彩	30.0	37.7		
129	池辺一郎	多摩川べり	1940 (昭和15) 年	紙、インク、水彩	25.0	33.3		
130	池辺一郎	多摩川	1940 (昭和15) 年	紙、鉛筆、水彩	24.6	35.5		
131	池辺一郎	多摩川堤	1940 (昭和15) 年	紙、インク、水彩	26.8	38.2		
132	池辺一郎	多摩丘陵	1940 (昭和15) 年	紙、インク、水彩	30.8	40.8		
133	池辺一郎	多摩川	1940 (昭和15) 年	紙、インク、水彩	32.0	40.8		

小特集：沿線の住宅建築―「田園と住まい展」(1989年)より

134	写真パネル：旧清水邸離れ 離れ遠景 (撮影：宮本和義)
135	写真パネル：旧清水邸離れ 内部
136	写真パネル：電通八星苑 (旧林愛作邸) 玄関
137	写真パネル：電通八星苑 (旧林愛作邸) 池と大広間南側外観 (撮影：清水 譲)
138	写真パネル：電通八星苑 (旧林愛作邸) 大広間北側内観 (撮影：清水 譲)
139	写真パネル：H氏邸 外観 (撮影：宮本和義)
140	写真パネル：H氏邸 書斎 (撮影：宮本和義)
141	写真パネル：H氏邸 応接間から庭を眺む (撮影：宮本和義)